

総務委員会資料

1 所管理事者の紹介及び事業概要の説明

資料 1 経済労働局管理職一覧

資料 2 経済労働局機構及び事業概要

参考資料 令和8年度経済労働局の施策について

経済労働局

令和8年4月16日

【経済労働局管理職一覧】

資料1

経済労働局長

田邊 聡 28000

産業政策部長 澤田 尚志 28100	庶務課長	米村 久幸 28101
	企画課長	一ノ瀬 進 28201
	消費者行政センター室長	乃万 真之 54800
経営支援部長 佐藤 一憲 28600	経営支援課長	加藤 剛史 28601
	担当課長〔国際経済〕	石井 佑美 28301
	金融課長	鈴木 勇二 544-1845
	中小企業溝口事務所長	御簾納 誠 812-1112
観光・地域活力推進部長 池田 昌弘 28400	担当課長 〔観光プロモーション推進〕	森 雅之 28702
	担当課長 〔地域活性化〕	細井 多 28703
	担当課長 〔商業・サービス業振興〕	矢田 誠 28701
イノベーション推進部長 坂本 篤史 28300	担当課長 〔成長産業〕	野本 陽一 28302
	担当課長 〔スタートアップ支援・量子イノベーションパーク推進〕	藤本 順也 28304
	担当課長 〔グリーンイノベーション〕	兒島 一嘉 28603
労働・人材支援部長 齋藤 正巳 28800	担当課長 〔労政・技能〕	加藤 行一郎 28801
	担当課長〔雇用・人材支援〕	木村 佳司 28802
公営事業部長 山本 武 54826	総務課長	鈴木 智広 54826
	業務課長	石渡 祐一郎 54827
都市農業振興センター所長 浜口 哲也 860-2462	農業振興課長	諸田 浩明 860-2462
	農地課長	久延 一郎 860-2461
	農業技術支援センター所長	地引 俊輔 945-0153
経済労働局担当理事 中央卸売市場北部市場 場長事務取扱 松川 哲司 975-2200	担当課長〔北部市場調整〕	相澤 俊介 975-2225
	担当課長〔南部市場調整〕	修田 命 975-2226
	担当課長〔市場調整〕	竹村 普 975-2225
	管理課長	内山 昌幸 975-2208
	業務課長	川口 愛 975-2229

(公財)川崎市産業振興財団派遣
経済労働局担当部長
勝山 慶一 548-4130

神奈川県川崎競馬組合派遣
経済労働局担当部長
葦澤 純二 201-7118
経済労働局担当課長
宮本 紀昭 511-9221

○産業政策部

所 属	事 業	主な事業内容
庶務課	(1)局の人事、予算及び決算 (2)局内の連絡調整及び事務改善 (3)局事業の統計及び資料収集 (4)局内他の課の主管に属しないこと (5)局民間活用事業者選定評価委員会	
企画課	(1)局主要事業の企画、調整及び進行管理 (2)地域経済に関する情報の収集及び分析 (3)産業振興協議会 (4)公益財団法人川崎市産業振興財団	ア 中小企業活性化の取組の推進及び進捗管理 (ア)「かわさき産業振興プラン」に基づく施策の展開による、中小企業活性化の取組の推進 (イ)「川崎市中小企業活性化のための成長戦略に関する条例」に基づくPDC Aでの進捗管理
消費者行政センター	(1)消費者行政に係る施策の企画、調査及び調整 (2)消費生活に係る事業者の指導 (3)消費生活及び物価の情報収集、情報提供及び意識の啓発 (4)消費生活に係る相談及び消費者訴訟の援助 (5)消費者団体の育成 (6)生活関連物資等の緊急対策 (7)センターの市税外収入 (8)計量意識の啓発 (9)計量管理 (10)計量関係団体との連絡調整 (11)量目検査及び指導 (12)計量器の検査及び取締り (13)消費者行政推進委員会	ア 消費者自立支援の推進 消費者行政の方針を定めた「川崎市消費者行政推進計画」に基づく事業の実施 イ 消費生活相談の情報提供 消費者被害の未然防止や消費生活に係る相談への対応 ウ 消費者の意識啓発 悪質商法の注意喚起や講座等の実施による消費者教育の推進 エ 適正な計量検査 計量法に基づく、適正な計量を確保するため、商品量目の立入検査などの実施

○経営支援部

所 属	事 業	主な事業内容
経営支援課	(1) 産業振興施策の推進（観光・地域活力推進部及びイノベーション推進部の所管に属するものを除く。） (2) 商工業関係団体等との連絡調整（観光・地域活力推進部の所管に属するものを除く。） (3) 中小企業等の経営革新 (4) 中小企業等の経営相談及び調査研究（観光・地域活力推進部の所管に属するものを除く。） (5) 企業誘致 (6) 産業立地の指導及び誘導 (7) 海外との産業交流の促進 (8) 国際経済及び貿易の振興 (9) 産業振興会館 (10) 課の市税外収入	<p>ア 生産性向上等の支援 中小企業の持続的な成長環境の創出に向けて、デジタル技術の活用等を通じた生産性向上等の支援</p> <p>イ 新製品開発・販路開拓の支援 中小企業の競争力強化に向けて、新技術・新製品開発に向けた事前マーケティングを含む総合的な支援のほか、展示会出展等の販路開拓に向けた取組に対する支援</p> <p>ウ 操業環境の保全 中小製造業者の立地誘導及び操業環境の改善に係る支援、本市への立地意欲のある市内外の企業と事業用物件を取り扱う宅地建物取引業者とのマッチング等の実施</p> <p>エ 海外展開の支援 中小企業等が海外需要を積極的に取り込んで成長につなげるため、海外展開に係る相談対応、ビジネスマッチング、経費助成、情報提供等の実施</p> <p>オ 事業承継・事業継続力強化の支援 地域の金融機関や企業団体・グループ等と連携したセミナー、専門家による課題解決支援、事業承継を見据えた経営力向上を図るための支援</p>

○経営支援部

所 属	事 業	主な事業内容
金融課	(1) 中小企業等の金融制度の企画及び金融対策 (2) 中小企業等の金融の相談、調査及び指導 (3) 川崎市信用保証協会 (4) 中小企業溝口事務所との連絡調整	ア 中小企業等の円滑な資金調達の仕組みの構築及び運用 (ア) 川崎市信用保証協会が中小企業等の公的な保証人となることにより、円滑な資金調達の仕組みを構築
中小企業溝口事務所	(1) 中小企業の経営相談及び金融相談 (2) 中小企業の経営改善のための調査研究	(イ) 預託や信用保証料補助を行い、川崎市信用保証協会及び取扱金融機関と協調して間接融資である制度融資を運用 イ 金融相談への対応等 セーフティネット保証制度の認定業務や特別相談窓口の設置、融資等に関する相談への対応

○観光・地域活力推進部

所 属	事 業	主な事業内容
観光・地域活力推進部	(1) 観光施策の推進 (2) 商業振興施策の推進 (3) 商業関係団体との連絡調整 (4) 大規模小売店舗の立地 (5) 中小企業等の経営相談及び調査研究（経営支援部の所管に属するものを除く。） (6) プレミアムデジタル商品券 (7) 観光振興計画推進委員会 (8) 大規模小売店舗立地審議会 (9) コンベンションホール (10) 川崎アゼリア株式会社	<p>ア 第3次かわさき観光振興プランに基づく取組の推進 産業観光や外国人観光客の誘客促進、市民・事業者等が一体となった観光推進体制の基盤形成に向けた取組など、第3次かわさき観光振興プランに基づく取組を推進</p> <p>イ 「市制記念多摩川花火大会」及び「かわさき市民祭り」の開催 「市制記念多摩川花火大会」は10月3日に、「かわさき市民祭り」は10月末から11月初旬に、それぞれ開催予定</p> <p>ウ 商店街やエリアの魅力を高めるイベント事業等の支援 地域の活性化や魅力ある商業地域の形成を図るため、商店街等が実施するイベントや課題解決の取組等支援の実施</p> <p>エ 意欲ある事業者の発掘・育成等の支援 (ア) 次世代の事業者を発掘・育成する「かわさき店舗出店支援プログラム（NOREN）」の実施 (イ) 事業者の認知度向上を目的とした「かわさきAKINAI AWARD」の実施</p> <p>オ プレミアムデジタル商品券事業 物価高騰の影響を受けている市民の暮らしと企業活動への影響を踏まえ、市民の消費の下支え、地域経済活性化及び市民・事業者のデジタル化促進を目的として、プレミア</p>

○観光・地域活力推進部

所 属	事 業	主な事業内容
		<p>ムデジタル商品券を発行</p> <p>カ 川崎市コンベンションホールの管理運営</p> <p>企業・研究機関・市民等の多様な主体が交流する機会を創出し、地域経済の活性化等の推進</p>

○イノベーション推進部

所 属	事 業	主な事業内容
イノベーション推進部	(1) 起業及び創業の促進 (2) 成長産業の創出及び育成 (3) 新川崎・創造のもり (4) 科学技術振興に係る施策の推進 (5) 環境産業振興施策の推進 (6) かわさき新産業創造センター (7) 部の市税外収入	<p>ア ケアイノベーションの推進</p> <p>「カワサキ ウェルフェア テクノロジー ラボ (ウェルテック)」を拠点として、東京科学大学及び産業技術総合研究所と連携した、企業の伴走支援や福祉製品・サービスの創出支援等の実施</p> <p>イ 起業・創業の促進</p> <p>(ア) 起業・創業の支援を行うワンストップ拠点の運営</p> <p>「 Kawasaki-NEDO Innovation Center (K-NIC)」における起業前及び創業初期の研究開発型スタートアップ等に対する支援の実施</p> <p>(イ) 事業化に向けた成長支援の実施</p> <p>研究開発型ベンチャー企業成長支援事業による、スタートアップ、ベンチャー企業等への伴走支援の実施</p> <p>(ウ) グローバルスタートアップの創出促進</p> <p>グローバルスタートアップ創出促進事業による、創業初期のスタートアップ等への集中講座及び海外ネットワーク構築支援等の実施</p> <p>ウ 新川崎・創造のもりにおけるオープンイノベーションの推進</p> <p>(ア) 新たな産業の創出や新製品の開発を促進するためのKスクエアタウンキャンパスやK B I C等を拠点としたオープンイノベーションの推進</p> <p>(イ) 4大学ナノ・マイクロファブ</p>

○イノベーション推進部

所 属	事 業	主な事業内容
		<p>リケーションコンソーシアム と市内企業との産学連携による 研究開発の促進</p> <p>エ 量子イノベーションパークの形 成 (ア)新川崎・創造のもりの機能更新 (イ)量子コンピューター人材育成プ ログラムの実施 (ウ) 国の大型プログラムを活用し た、量子技術・AI・先端半導体分 野の新産業創出の取組の推進</p> <p>オ グリーンイノベーションの推進 川崎国際環境技術展での情報発 信や企業間交流による事業化への 支援などを通じた、環境産業の振興</p> <p>カ ESG経営（ファイナンス）・ SDGs 経営の促進 (ア)中小企業のESGファイナンス 活用に関する費用支援の実施 (イ)中小企業のESG・SDGs 経 営の実践に向けた伴走支援や金 融機関等との連携を通じたES G経営及びESGファイナンス の普及促進等の実施</p>

○労働・人材支援部

所 属	事 業	主な事業内容
労働・人材支援部	(1)人材の確保、定着及び育成並びに就業支援 (2)勤労者福祉の推進及び啓発 (3)中小企業等の働き方改革 (4)技術技能の奨励及び振興並びに育成継承 (5)勤労者福祉共済事業 (6)勤労者福祉共済運営協議会 (7)かわさきマイスター選考委員会 (8)生活文化会館 (9)労働会館 (10)労使団体及び関係官公署との連絡調整 (11)労働資料の調査及び刊行	ア 多様な人材の確保・育成等 関係機関と連携した市内企業による若者、女性、シニア、外国人等の多様な人材の確保・育成等の支援 イ 就業の支援 (ア)「キャリアサポートかわさき」による求職者の就業支援と企業の人材確保を一体的に実施 (イ)「コネクションズかわさき」による職業的自立支援 ウ 勤労者福祉対策・労働相談 社会保険労務士による労働相談窓口の設置 エ 技能の奨励 市内最高峰の技術・技能者を「かわさきマイスター」として認定 オ 勤労者福祉共済 市内中小企業で働く従業員の福利厚生の実施 カ 労働会館の再編整備 令和9年11月の「川崎市民館・労働会館」の供用開始に向けた改修工事の実施、指定管理者の指定などハードとソフトの一体的な取組を推進

○公営事業部

所 属	事 業	主な事業内容
総務課	(1) 競輪事業の企画 (2) 競輪開催収支の経理及び決算 (3) 競輪事業収入の徴収 (4) 競輪場施設の維持管理 (5) 神奈川県川崎競馬組合との連絡調整 (6) 競馬の指定申請	ア 競輪事業 (ア) 本場開催及び場外開催における車券の発売 (イ) 自転車スポーツの振興・普及、競輪の社会的認知度の向上
業務課	(1) 競輪の開催計画及び執行 (2) 競輪の制裁審議 (3) 競輪関係団体との連絡調整 (4) 場外車券売場 (5) 従事員の労務管理	(ウ) 市民に親しまれる競輪場づくり

○都市農業振興センター

所 属	事 業	主な事業内容
農業振興課	(1) 農業振興計画 (2) 農業生産振興 (3) 水産 (4) 農業関係団体との連絡調整 (5) 農業振興計画推進委員会 (6) 農業技術支援センターとの連絡調整 (7) 課の市税外収入	ア 本市農業支援の方向性の整理 都市農業の課題を踏まえた農業支援のあり方の整理 イ 農業振興計画の推進 附属機関での現計画進捗管理 ウ 地産地消の推進 市内農産物の認知度向上や市内消費促進に向けた取組の実施 エ 農業の担い手育成 新規就農者の育成対策をはじめ、地域を牽引する認定農業者等への設備投資の支援
農地課	(1) 農業委員会 (2) 農業振興地域の整備計画 (3) 農業生産基盤の整備及び農業用水の利用調整 (4) 生産緑地 (5) 農地法 (6) 農地の利用調整 (7) 農業委員会委員選考委員会 (8) 課の市税外収入 (9) 森林	ア 農業委員会の運営 農地の売買や貸借の許可等の行政事務 イ 生産緑地及び特定生産緑地の指定 生産緑地と特定生産緑地制度の周知、J Aセレサ川崎等との連携による意向確認など、指定の推進 ウ 農地利用の最適化の促進 農業振興地域の活性化と施設整備に対する補助、遊休農地対策や違反転用対策等の実施
農業技術支援センター	(1) 農業生産振興（農業振興課経営支援係の所管に属するものを除く。） (2) 農産物の生産に係る相談、指導、試験研究及び技術的支援 (3) 農産物の生産に係る技術の向上を図るための講習会、研究会等の開催 (4) センターの維持管理	ア 農業生産振興 多摩川ナシ栽培、施設栽培に組む生産者への奨励金の交付、品評会の開催 イ 農業技術支援 環境への負荷を軽減した環境

○都市農業振興センター

所 属	事 業	主な事業内容
	(5)センターの市税外収入 (6)農産物の生産に係る技術に関する情報の収集及び提供 (7)果樹、野菜及び花き（以下「果樹等」という。）の優良な品種の普及並びに果樹等の品種の保存 (8)農業に対する理解を深めるための講習会、研修会等の開催 (9)農産物の生産活動を支援するためのボランティアの養成 (10)畜産関係団体との連絡調整	保全型農業の推進、新品種等の試験栽培、土壌分析などを実施 ウ センターの老朽化対策を含めた機能更新の検討 センターの必要な機能及び整備・運営手法の検討

○中央卸売市場北部市場

所 属	事 業	主な事業内容
中央卸売市場 北部市場	(1) 市場の経営企画 (2) 中央卸売市場北部市場の機能更新	ア 北部市場の機能更新 「川崎市中央卸売市場北部市場機能更新に係る基本計画」に基づき、取組を推進
管理課	(1) 市場の施設整備の計画及び実施 (2) 市場に係る事業の国庫補助等の協議及び手続 (3) 市場の市税外収入 (4) 市場に係る施策の企画及び調整 (5) 市場の経営改善 (6) 市場の維持管理 (7) 市場関係団体との連絡調整 (8) 市場事業の統計及び調査 (9) 中央卸売市場開設運営協議会 (10) 市場施設の指定及び使用許可 (11) 市場内の整理及び取締り (12) 川崎冷蔵株式会社 (13) その他市場内他の課の主管に属しないこと (14) 地方卸売市場南部市場 (15) 地方卸売市場南部市場運営審議会	イ 南部市場の基本構想の策定に向けた取組の推進 川崎市卸売市場新経営プランに基づき南部市場の施設運営・整備に関する基本構想の策定に向けた取組の推進 ウ 新たな取引ルールの下での指導・監督 公正な取引を確保しつつ、法改正による規制緩和を活かし、より取引しやすい環境の整備
業務課	(1) 市場関係事業者の業務の許可及び承認 (2) 市場関係事業者の業務の指導監督 (3) せり人の登録等 (4) 出荷者	

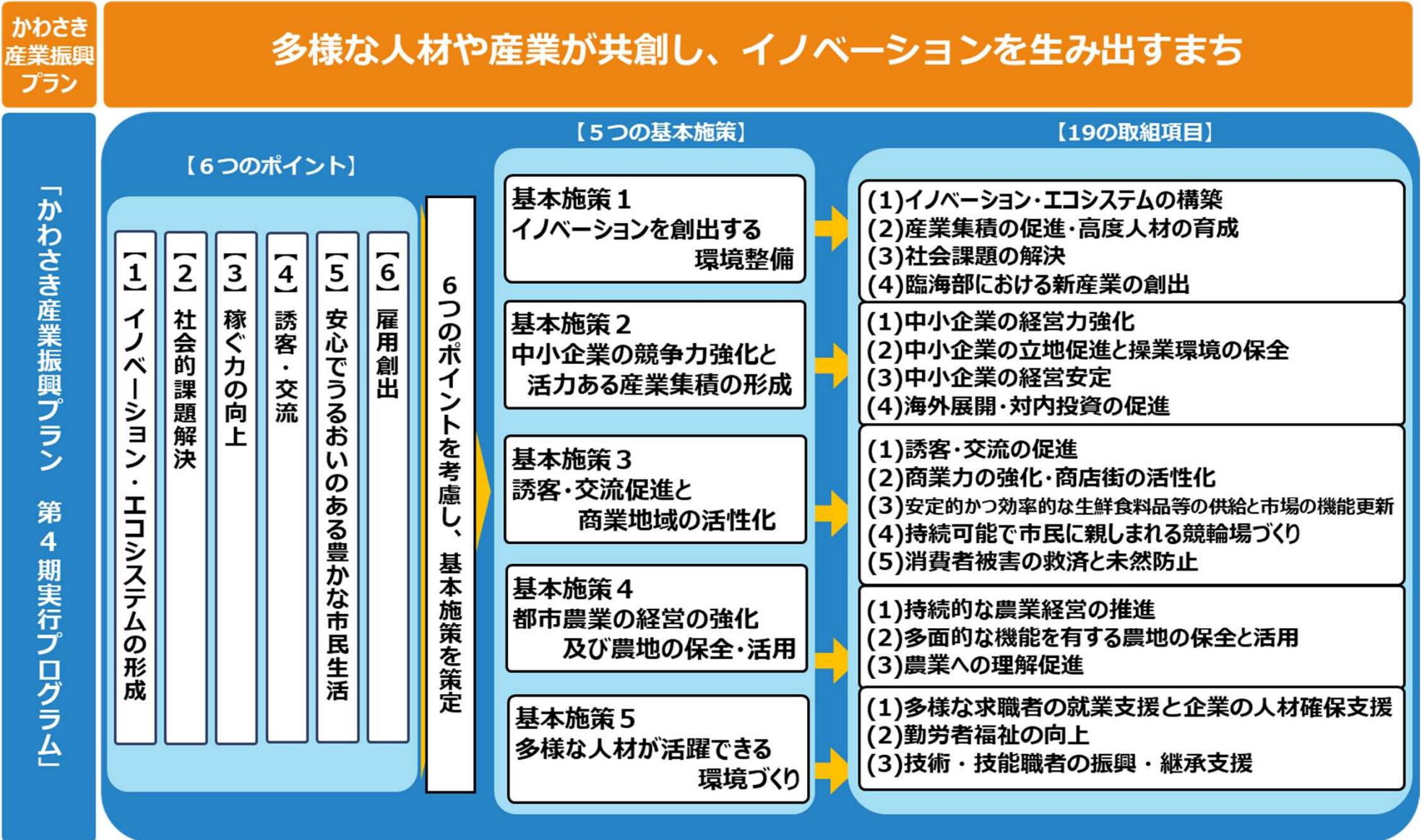
令和8年度 経済労働局の施策について

「かわさき産業振興プラン」に基づく市内産業の振興

「かわさき産業振興プラン」のめざす姿である「多様な人材や産業が共創し、イノベーションを生み出すまち」の実現に向け、令和8(2026)年度～令和11(2029)年度を第4期実行プログラムの計画期間として、「6つのポイント」を設定して、「5つの基本施策」を策定し、市内産業の振興に向けた取組を推進する。

12
年
先
の
め
ざ
す
姿

4
年
間
の
中
期
計
画



令和8年度 一般会計予算額の規模

238億3016万1千円

(対前年度比: $\Delta 1.5\%$)

※1 一般会計予算額の前年度からの主な減少理由

⇒かわさき新産業創造センター事業費の減、労働会館施設改修工事期間の変更による整備費の減等により、約3.6億円の減

※2 特別会計の事業

⇒競輪事業(40,584百万円)、卸売市場事業(1,921百万円)、勤労者福祉共済事業(112百万円)

基本施策1 イノベーションを創出する環境整備

一般会計予算額：391,936千円

1 イノベーション・エコシステムの構築

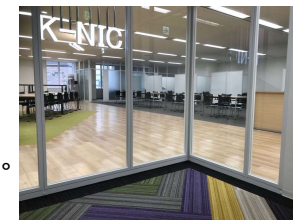
- ✓ NEDOなど市内支援機関と連携して創業環境を整え、ベンチャー企業への個別支援や産業拠点との連携による立地支援を一体的に実施します。
- ✓ 小中学生向けのアントレプレナーシップ育成イベントや、市内先端企業を紹介する副読本の作成・更新により、次世代人材の育成を進めます。
- ✓ 市内の研究開発機関や先端拠点の強みを活かし、企業間・拠点間の連携を強化することで、市内全域でイノベーションが生まれる仕組みを構築します。

2 産業集積の促進・高度人材の育成

- ✓ 新川崎・創造のもりを拠点に産学連携や協業支援を進め、オープンイノベーションの取組を推進します。
- ✓ 先端産業分野の競争力ある企業誘致とインキュベーションマネージャーによる伴走支援により、入居企業の成長促進や卒業企業の市内立地を誘導します。
- ✓ 量子イノベーションパークの実現に向けて、量子関連企業・大学等の誘致や実証モデル事業、人材育成、市内企業の発掘、情報発信等を進めるとともに、立地誘導・投資促進制度を活用し、量子・AI・半導体など最先端コンピューティング分野の「知」と「人材」が集積するイノベーション拠点の整備や企業立地を促進します。



新川崎・創造のもり



K-NIC



新たな拠点のイメージ

3 社会課題の解決

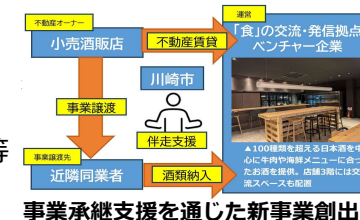
- ✓ 企業や大学など多様な主体との連携により、サステナビリティ関連（グリーンイノベーション、ケアイノベーション等）に取り組む事業者への開発等を支援します。

基本施策2 中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成

一般会計予算額：20,365,516千円

4 中小企業の経営力強化

- ✓ マーケティングに精通したコーディネータを配置し、戦略策定やテストマーケティング支援による中小企業の新製品開発等を促進するとともに、既存のネットワークを活用したプライベート展示会等により販路開拓支援を強化します。
- ✓ 中小企業成長環境支援補助金や専門家派遣等を活用し、生産性向上や人材確保の取組を支援し、経済団体との連携による企業訪問等を通じて好事例の波及を図るほか、人材確保・定着に向けた補助事業等を拡充します。
- ✓ 事業承継等に関する専門家派遣や後継者育成支援を実施するとともに、将来の事業承継を見据えた経営力向上に向けた支援を行います。



事業承継支援を通じた新事業創出

5 中小企業の立地促進と操業環境の保全

- ✓ 立地ニーズに応じた事業用地等のマッチング、貸工場等の開発誘導、産業立地を促進した地区における土地の貸付や相談対応を通じ、市内の産業集積を維持します。
- ✓ 中小製造業の操業環境と住民の住環境の調和を図りながら、産業集積の維持・強化を進めます。



オープンファクトリーの様子

6 中小企業の経営安定

- ✓ 川崎市信用保証協会や取扱金融機関と連携した間接融資制度により、中小企業の資金繰りや経営改善、創業等を支援するとともに、災害・不況時にはセーフティネット保証認定や金融相談に対応するなど、資金面から中小企業等の経営を支援します。



ベトナム商談会の様子

7 海外展開・対内投資の促進

- ✓ 市内中小企業の海外におけるビジネス展開を促進するとともに、外資系企業等の本市への対内投資促進に向けた取組を推進します。

基本施策3 誘客・交流促進と商業地域の活性化

一般会計予算額：710,545千円

・ 8 誘客・交流の促進

- ✓ 今の川崎を楽しみ、人と人をつなぎ、住む人と訪れる人が交流し、幸せになる川崎らしい観光カルチャーを創造する人材を発掘・誘引する取組を推進します。
- ✓ ビジネス層や、ありのままの川崎の魅力をポジティブに捉える国内外のひとへ川崎の魅力を発信し、誘客・交流を促進します。



台北国際旅行博でのPRの様子

・ 9 商業力の強化・商店街の活性化

- ✓ 川崎に愛着を持ちエリアを牽引する事業者が多様な主体を巻き込み、自主的・自立的に再活性化を図る仕組みを構築します。
- ✓ 事業者のデジタル化など社会経済環境の変化を踏まえた地域課題への対応や、魅力ある個店の集積による活力ある商業地域の形成に向けた取組を推進します。



NOREN受講の様子

・ 10 安定的かつ効率的な生鮮食料品等の供給と市場の機能更新

- ✓ 流通・消費構造の変化や施設老朽化など多様な課題を踏まえ、持続可能で機能的な市場運営を実現するため、卸売市場新経営プランに基づく取組を進めます。

・ 11 持続可能で市民に親しまれる競輪場づくり

- ✓ 市内外から来場しやすい魅力的な競輪場づくりを進めつつ、効率的な運営と売上向上により収益を確保し、持続可能な事業運営を推進します。



・ 12 消費者被害の救済と未然防止

- ✓ 消費者行政推進計画に基づき、市民が安心して安全な消費生活を送れるよう、専門的知見による相談対応と、消費者教育・啓発を通じた被害防止に取り組みます。

基本施策4 都市農業の経営の強化及び農地の保全・活用

一般会計予算額：133,002千円

・ 13 持続的な農業経営の推進

- ✓ 今後の本市農業を担う農業者の育成、農産物の生産技術や農業経営に関する支援等を推進するとともに、農業技術支援センターの老朽化への対応について検討を進めます。

・ 14 多面的な機能を有する農地の保全と活用

- ✓ 良好な農環境の保全に向け、多面的な機能を有する農地の活用を図るとともに、農業振興地域等における農業用施設の維持・管理等を行います。

・ 15 農業への理解促進

- ✓ イベントや情報発信等を通じて地産地消を推進するとともに、収穫体験などを通じて市民が「農」を知る機会の創出等に取り組んでいきます。



老朽化する
農業技術支援センター

基本施策5 多様な人材が活躍できる環境づくり

一般会計予算額：1,188,416千円

・ 16 多様な求職者の就業支援と企業の人材確保支援

- ✓ 「キャリアサポートかわさき」等を活用して就職支援を行うとともに、外国人を含む多様な人材の確保・活用に向けた企業支援を実施します。

・ 17 勤労者福祉の向上

- ✓ 市内企業で働く勤労者がより豊かで充実した生活を送れるよう、労働問題の解決や生活向上などに係る情報提供や各種支援、福祉共済事業の運営を実施するとともに、川崎市民館・労働会館の供用開始に向けた整備を推進します。



かわさきマイスター認定式

・ 18 技術・技能職者の振興・継承支援

- ✓ 技能職者の技能向上と市民理解の促進に向けた技能職体験やかわさきマイスター認定を実施するとともに、生活文化会館の適切な管理運営や修繕等の検討を進めます。

基本施策 1

イノベーションを創出する

環境整備

- イノベーション・エコシステムの構築
- 産業集積の促進・高度人材の育成
- 社会課題の解決

各支援機関との連携や市内産業拠点間の連携による総合的かつ成長段階に合わせた効果的なスタートアップ支援の実施

令和8(2026)年度を取組

- ・ 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)をはじめとする市内の各支援機関と連携して創業しやすい環境づくりをするとともに、ベンチャー企業等に対する個別・集中支援や、市内の各産業拠点と連携した立地支援を行うなど、総合的かつ成長段階に合わせたスタートアップ支援を実施
- ・ 次世代人材の育成に向け、小中学生向けアントレプレナーシップ醸成イベントの実施や市内の先端科学技術を扱う企業等を紹介する副読本の作成・更新

成長ステージからの

支援拠点・施設

支援事業



基本施策1 イノベーションを創出する環境整備 イノベーション・エコシステムの構築

本市の産業特性や特徴を活かしたエコシステムの構築

令和8(2026)年度の実施

- 大企業をはじめとする市内約550の研究開発機関の集積や、新川崎・創造のもりや南渡田地区、キングスカイフロント等の世界最先端の研究開発拠点の特徴を活かし、企業間連携、拠点間の連携を強化し、川崎市全域にイノベーションが生まれ続ける循環（エコシステム）を構築



新川崎・創造のもりを拠点としたオープンイノベーションの取組や量子イノベーションパークの実現に向けた取組を通じた産業集積の促進

令和8(2026)年度の取組

- ・新川崎・創造のもりを拠点として産学連携や協業支援を通じたオープンイノベーションの取組を推進
- ・先端産業と分野等における競争力ある企業等を誘致するとともに、入居企業の成長促進に向けたインキュベーションマネージャーによる成長段階に応じた伴走支援等の実施
- ・市内への研究開発拠点等の整備等の進展と連動し、KBICの支援を通じて事業拡大した卒業企業の市内立地を誘導

新川崎・創造のもり かわさき新産業創造センター (KBIC)



- 合計約100室、約8,100㎡の研究開発型インキュベーションラボ
- 半導体・微細加工技術のオープンラボ (クラス100・10000のクリーンルーム)
- 4大学(慶大・早大・東工大・東大)コンソーシアムによる産学連携
- 指定管理者(かわさき新産業創造センター共同事業体：(公財)川崎市産業振興財団、バイオ・サイト・キャピタル(株)、(株)ツクリエ、三井物産フォーサイト(株))による経営相談、販路開拓、マッチング、市内立地候補先の情報提供等の支援を実施
- 令和7年12月末現在の入居率 約97%
- 企業、大学の研究室を合わせて 46者が入居、従業員数約400名
- IPOまたはポジティブなM&A実績 開設からの累計7社

かわさき新産業創造センター本館
(KBIC 平成15年開設)



創業支援や成長支援などを行うベンチャービジネス創出拠点。CAD・CAM研修室や、工作機械の利用も可能

ナノ・マイクロ産学官共同研究施設
(NANOBIIC 平成24年開設)



大型クリーンルーム (750㎡) を備え、4大学 (慶應・早大・東科大・東大) コンソーシアムの機器を企業等へ開放

産学交流・研究開発施設
(AIRBIC 平成31年開設)



インキュベーションラボと民間運営による中長期利用向け研究開発ラボ、レストラン、売店、大会議室などを設置

基本施策1 イノベーションを創出する環境整備 産業集積の促進・高度人材の育成

新川崎・創造のもりを拠点としたオープンイノベーションの取組や量子イノベーションパークの実現に向けた取組を通じた産業集積の促進

令和8(2026)年度の取組

- 量子イノベーションパーク実現に向けて、市内への量子関連企業・大学等の誘致や、実証モデル事業の実施、量子・AI分野などの次代の産業を担う人材の育成、サプライチェーン構築に向けた市内企業の発掘、取組の情報発信等を実施
- 立地誘導・投資促進の支援制度の活用等を通じ、量子・AI・半導体等の最先端コンピューティング分野の「知」と「人材」が集積するイノベーション拠点の整備や企業等の立地に向けた取組を推進

量子イノベーションパークの実現に向けた取組

市内中小企業による量子技術開発への支援

- 市内中小企業の量子技術分野への参入促進に向けた、量子コンピューターの部素材等の開発に対する補助を実施
- 大阪・関西万博で発表された純国産量子コンピューターには高周波同軸コネクタでの川島製作所（多摩区）や磁気シールドでのオータム（多摩区）も参画しており、こうした動きをさらに後押し、拡大



出典:川島製作所



市内企業も開発に参画した純国産量子コンピューター
(出典:大阪大学QIQB)

量子技術を活用した地域での実証事業

- 自治体初の取組として、量子コンピューターを使った地域課題等の解決に向けた実証事業
- 市内における量子技術の活用事例を創出

R7(2025)は2つのテーマを採択

- 屋内スポーツ施設予約の最適化の実証
- オンデマンド交通における停留所・ルート最適化検証



量子人材育成の取組

- 令和4年度から、**東京大学・日本IBM**と連携して高校生向けの4日間程度で実施する量子サマーキャンプを開催
- 令和6年度からは更なる学習メニューを追加するため、**NVIDIA・慶應義塾大学**と連携して高校生・大学生向けの量子プログラミング体験講座を開催
- 更に、これまで未実施であった初級者向けのプログラムを実施するため、令和7年度末に**茨城大学・TIS社**と連携した中学生向け教育プログラム、高校生向けの新規プログラムを開催

令和4年度～



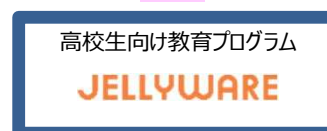
令和6年度～



令和7年度 **新規**



令和7年度 **新規**



基本施策1 イノベーションを創出する環境整備 産業集積の促進・高度人材の育成

新川崎・創造のもりを拠点としたオープンイノベーションの取組や量子イノベーションパークの実現に向けた取組を通じた産業集積の促進

令和8(2026)年度の取組

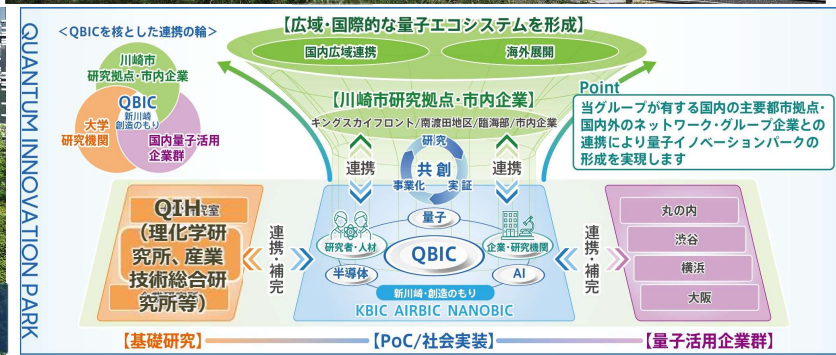
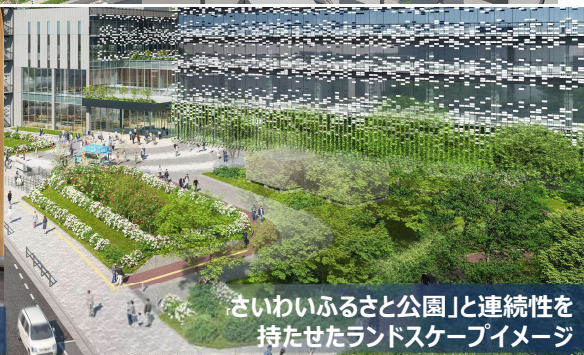
- ・新川崎・創造のもりの機能更新を通じた、量子・AI・半導体等の最先端コンピューティング分野の「知」と「人材」が集積する新たな拠点形成を推進
- ・令和8(2026)年2月に整備事業の優先交渉権者として三菱地所(株)を代表企業とするグループが決定し、令和11(2029)年度末の供用開始に向けた取組を推進

新川崎・創造のもりの機能更新を通じた量子・AI・半導体等の新たな研究開発拠点の整備

- イノベーション・エコシステムの成長エンジンとなる都市型PoC/社会実装拠点：QBIC
- 新川崎・創造のもりを起点とした活動を拡大し、広域・国際的な量子エコシステムへ(右下図イメージ参照)
- 市民や子どもたちの学びへの関心を誘発し、研究・開発との接点を創る「開かれた」交流・共創の場を形成

敷地面積 16,407.60㎡

延床面積 49,999.00㎡



企業や大学など多様な主体との連携により、サステナビリティ関連（グリーンイノベーション、ケアイノベーション等）に取り組む事業者への開発等を支援します。

令和8(2026)年度取組

川崎国際環境技術展

- 市内中小企業等の市場開拓、販路拡大等に向けて、脱炭素等に資する環境技術等を展示するとともに、様々な取組を通じたビジネスマッチングの場の提供、グリーンイノベーションの創出（環境技術展を軸とした支援）を目的として実施（令和8年度・第19回）



展示会場内の様子

【実施内容】

- ◆ テーマに即した講演・セミナー
- ◆ ピッチ・交流会等による交流促進
- ◆ ゲストの招待を通じた海外展開支援
- ◆ 技術展を軸とした特別企画（下記）

過去の成果事例

株式会社アリスミ21（川崎区）

技術展のマッチングを起点として、大手医療品メーカーの物流拠点に同社の環境配慮型梱包材を導入



<前回開催データ（令和7年度・第18回）>

開催日：令和7年11月12日（水）13日（木）会場：カルッツかわさき
出展者数：120者 来場者数：約4,400名 ビジネスマッチング数：794件

新事業創出プログラム「CYCLE」 令和7年度～

- ホスト企業のサーキュラーエコノミーに関するニーズに対して、学生がアイデアを立案し、アイデア発表を聴講した地域企業が共創パートナーとなってホスト企業・学生と共に新事業を生み出す企画



昨年度イベント時のアイデア発表の様子

【昨年度実績】学生アイデア：12件 ビジネスマッチング：28件

新製品・サービス創出プログラム「KETCHAP（仮）」 令和8年度～（新規）

- 環境分野に関連する社会課題解決を目的とした製品・サービスの開発事業に対して、開発資金の支援、開発品の環境技術展における成果発表支援（環境技術展を軸とした支援）によるモデル事業



実施イメージ
（研究開発・展示会での成果発表）

（画像はAIにより生成しています）

ESG経営（ファイナンス）の普及促進

市内中小企業を対象としたESG経営・ファイナンスの普及促進に向けた施策を実施する。

- ESGファイナンス促進補助金の継続実施
- セミナーの実施や川崎国際環境技術展の場を活用した普及促進
- 伴走支援によるESG経営の実践促進
- 「脱炭素経営支援コンソーシアム」との連携による情報交換や情報収集、新たな施策の検討



R7技術展でのブース出展の様子

「Kawasaki Welfare Technology Lab（通称：ウェルテック）」を軸としたケアイノベーションの推進

【開発から上市後の普及促進までの各段階の支援の流れ】



- 課題を持つ当事者（高齢者、障害児者）や支援者、専門職との共創による製品等の開発を支援
- 東京科学大学・産業技術総合研究所と運営するウェルテックの強み
 - ①福祉現場の当事者や支援者、専門職の声を聞く場への円滑な接続
 - ②仮説検証及び実証の場の提供
 - ③科学大及び産総研による福祉機器等の機能評価や科学的助言、技術的助言等
→支援機関や関連事業のハブとなり、社会実装に繋がる開発を促進
- ウェルテックを軸にした支援の線上に、本市独自の福祉製品認証制度『かわさき基準（KIS）認証事業』を位置づけ、上市後の普及促進までを支援

地域包括ケアシステム実現に向け、福祉の課題を産業の力で解決する
ケアイノベーションを推進